モトクロスで九州２位　来期の目標語る
川路蒼馬さん・颯葵さん表敬訪問

１月10日、田代中３年の川路蒼馬（そうま）さん、田代小５年の颯葵（いぶき）さん兄弟が役場を訪れ、蒼馬さんが2024年のシリーズランキングで九州２位になったことを報告しました。「夢は整備士。競技を続けながら、バイクや車を直していければ。」と語る蒼馬さん。弟の颯葵さんも「来年は表彰台を狙い、プロを目指す。」と決意を述べました。

モトクロスは起伏の激しいコースをバイクで周回する競技。バイクを駆使したダイナミックなジャンプがこの競技の見どころ。

例年よりひと月遅い開催　イベントは大盛況
冬の風物詩「大根やぐら」幻想的に輝く

1月16日から３日間、宿利原地区で大根やぐらのライトアップが行われ、18日にはイベントが開催されました。会場には、イベント開始前から干し大根を求めて長蛇の列ができ、町内外から多くの観客が来場。ステージでは宿利原小児童の発表や役場職員のバンド演奏、クイズ大会などが行われ、大いに盛り上がりました。

例年は12月に実施していますが、今季は気候が暖かく、植え付けが遅れた影響で１月の開催となったそうです。

藤崎さんの池田小での指導は今年で３年目。石踊校長は「プロから学べる機会は児童にとって大きな財産になる。」と語りました。

未来づくり専門員藤崎さん　表現運動の指導
池田小10名 笑顔輝くダンスに挑戦

未来づくり専門員の藤崎花鈴さんを講師に招き、池田小学校で表現運動の学習が行われました。未来づくり専門員の傍ら、プロバスケットボールチーム『鹿児島レブナイズ』のオフィシャルチアダンスチームに所属する藤崎さん。全6回の授業で１曲のダンスを作り上げます。１年の大園千鈴（せんり）さんは、「藤崎先生の踊りはすごい。ダンスは大好き。」と、楽しく踊りました。

田代中学校は応募や入選率の高い学校に贈られる学校賞を２年連続受賞。入賞作品は、県内各地で巡回展示されます。

令和６年度鹿児島県統計グラフコンクール
田代中 水流和さん受賞の喜び語る

令和６年度鹿児島県統計グラフコンクールで田代中１年の水流和（やまと）さんが入選しました。また、田代中は29校の中から学校賞を受賞。水流さんは「みんなが錦江町のことをどう思っているのか知りたくて『調査！錦江町愛』というテーマで取り組んだ。ぼくは、将来錦江町に残って父の仕事を継ぎたい。」と笑顔で語りました。

１区を走った宿利原小３年の笑喜若菜（わかな）さんは「とても緊張したし、走るのがきつかった。でも、地域の人の応援があったから、次の人に襷をつなぐことができた。」と喜びを語りました。

閉校前の学び舎に　活気溢れる
宿利原校区一周駅伝 開催

１月11日、宿利原校区一周駅伝大会が開催されました。宿利原小PTAが主催する本大会は、今回で49回目。宿利原小が今年３月に閉校を迎えるため、最後の大会となりました。５区間全長6.4㎞のコースを何人で走っても構わないというルールのもと、14チーム約100名の選手が参加し、沿道から大きな声援が送られました。

田代小５年生防災教室　今年で３年目
もしもの時の備え　炊き出し体験

１月11日、田代小５年生を対象に防災教室が行われました。町防災専門監と町社会福祉協議会職員が講師を務め、児童は災害時に必要なものや行動の仕方などを学習。また、災害時を想定して大きな釜を使い、ポリ袋に入れた米を炊く「炊き出し体験」を実施し、災害時でも身近な物で簡単に調理できることを学びました。

５年川路乃愛（のあ）さんは「今日学んだことを災害時に活かしたい。ポリ袋でお米を炊く方法はお母さんにも教えたい。」と話しました。

積み木を手渡した菖蒲テル子さんは、「子どもたちの元気な声を聞けてよかった」とにこやかな笑顔で話されました。

手作りのぬくもりを子どもたちへ
町内木材で作った積み木を贈呈

12月25日、錦江町認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」のメンバーさんが、昨年９月から３か月かけて作成した約100個の手作り積み木を、大根占子育て支援センターと田代幼稚園にクリスマスプレゼントとして贈りました。子どもたちはすぐに積み木で遊び、田代幼稚園年長の福留由依菜（ゆいな）さんは「すごく楽しい！家を作って遊びたい」と楽しみながら話してくれました。